

黒豆

Original BL Comic Presented by Kuromame

もういちど  
その手を  
握りな。

adult only  
R18





もう  
いちど  
その  
手を。



お前なんか  
嫌いだ!!

本当は好きでもなんでも  
なかったんだからな!!

あの時——

もう少し  
食い下がってれば——

その出来事は  
今も俺の心の中で  
ささくれになっている

信彦さんって——

はっ





高校の頃から  
遊んでさうですよー

えー  
オレ結構  
一途なんだよー？

絶対ウソ  
あ、は、は



ホントホント  
フラれて、その後相手が  
転校しちゃってさ

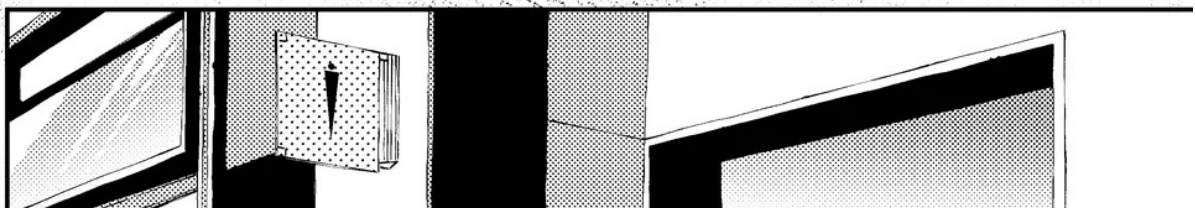
諦められなくて  
夜行バスで  
追いかけてったりしたよ

まあ  
タマにたんま  
けお

えー！

うわ！  
信彦さん意外ー！

それって  
今でも引きずってたり  
するんですか？





今日女の子のほとんど  
信彦さん狙いですよお



悪い  
俺この後抜けるわ

えっ!

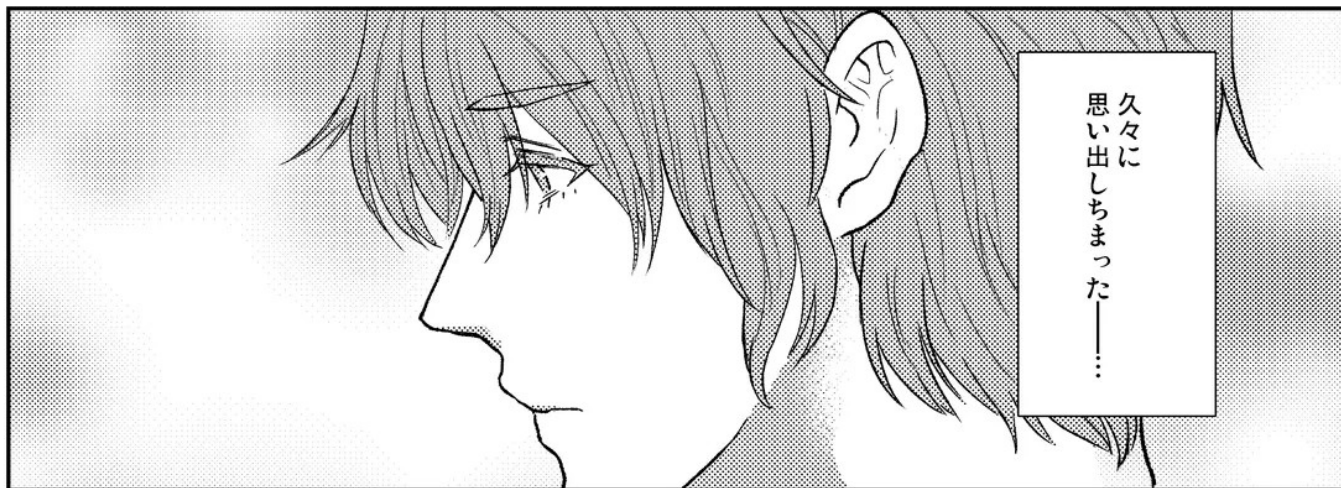


ん

二件目  
行きましょーよお



あ…





え

むっみー？

のび...  
わ... ..





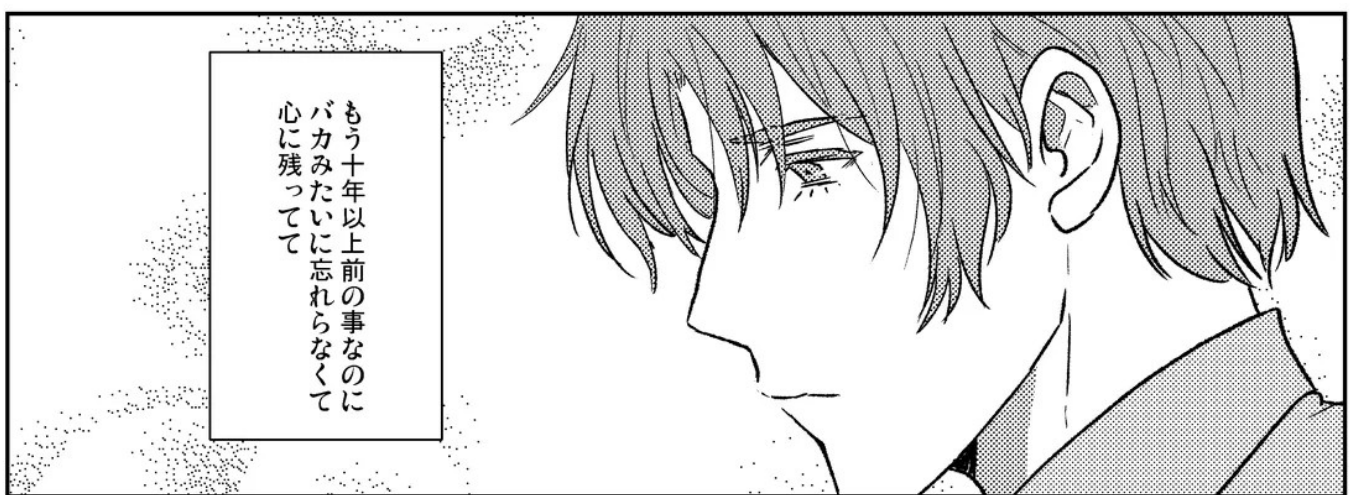








睦美と別れてから  
誰の事も好きになれず  
ここまでできてしまった




もう十年以上前の事なのに  
バカみたいに忘れらなくて  
心に残ってて



俺だけ  
忘れられずに……




だけどコイツは  
普通に女と付き合って  
普通に生活してたんだな




こんなやつ  
いっそ思い出ごと  
めちやくちやにしたら

何もかも  
忘れられるだろうか――



あ…れ…？



信彦…？



信彦：  
どうしたんだよ  
そんな悲しそうな  
顔して…

お前の…  
そんな…



…違うんだ  
本当はそんな顔させたく  
なかったんだ…

あの時も——



なに…



んん…



うう…









性格が真反対で  
最初はよくケンカした

隣の席が隣だからって  
言いかげないぞ

なんでこのくらい  
ムコヤサなの!!



よく喋って  
バカみたいだと  
思ってたけど

ナヤシクも  
言ってるぞ

なんで  
かゆいの好きでも  
別にいいじゃないか



信彦は思った事を  
すぐ口に出して、裏表がなくて

今さらこたの

クマシタマシ  
オレも少し昔持った

大きな声で  
言わなさい



その素直で  
強引な所が  
心地よくなって

でも  
いつのまにか



僕たちは  
とても親しくなっていた

ねー  
今日も家  
行っていい?

いいけど  
その前に本屋に  
付き合っつよ

いーよ!  
あ!オレもジャンプ買お



一緒にいるだけで  
楽しくて

僕らは沢山の時間を  
共有した



くだらない話で  
何時間も笑って  
いられること

買い食い  
が  
楽しいこと

信彦は  
僕が知らないことを  
沢山教えてくれた

ニヤニヤ  
香巻おにいさんだよ

寄り道  
していいの!?



まって…なんか  
ちんちん変…っ  
おしっこ行きたいよおっ…!

やめ…  
どいてえ…



やめろって!  
バカ!

いーじゃん  
透けてて  
気になったんだ  
見せてよー

乗っかるな!  
重い!!



そして  
ある日ー

ねー

むつみの乳首って  
何でピンクなの?

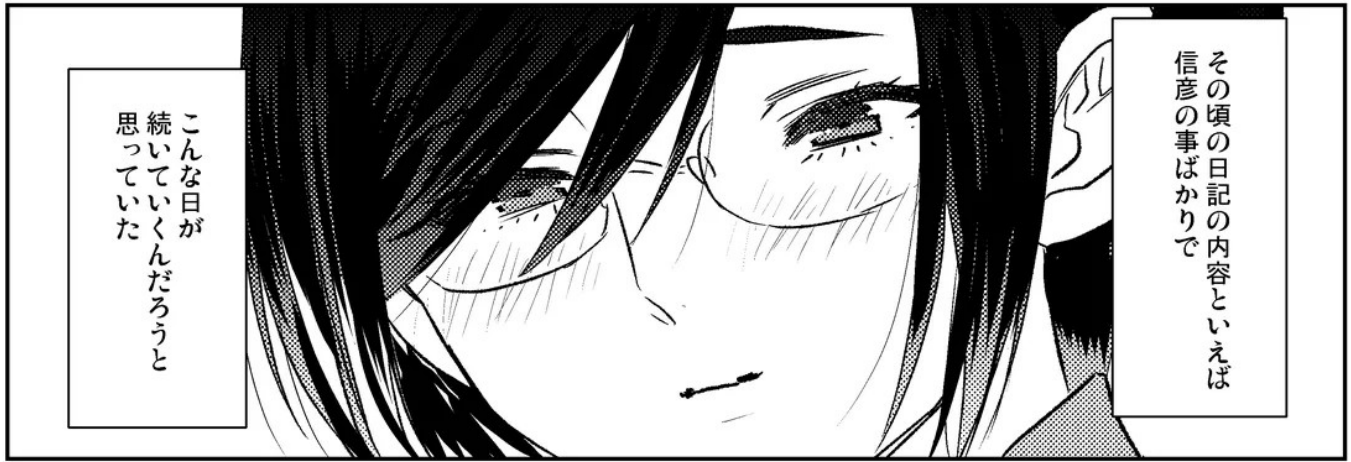




だから、自分と対話をするように  
その日あったことを  
日記につけるのが常だった



僕の両親は  
仕事で忙しく留守にしがちで  
小さいころからあまり話を  
聞いてもらえなかった



こんな日が  
続いていくんだろうと  
思っていた

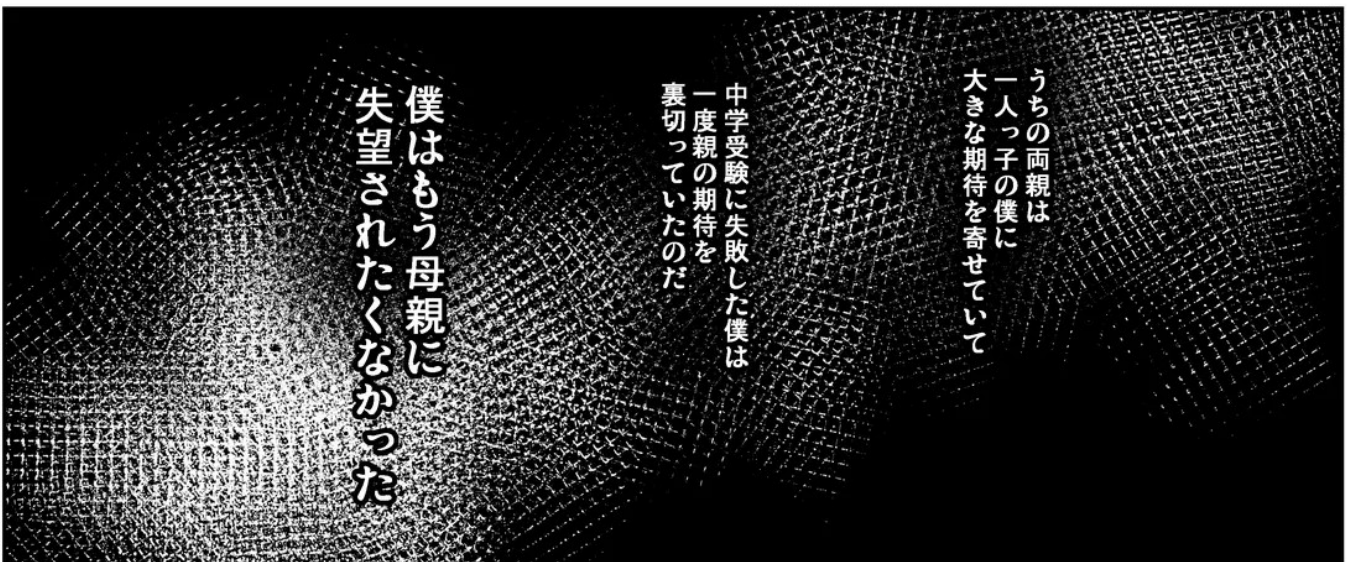
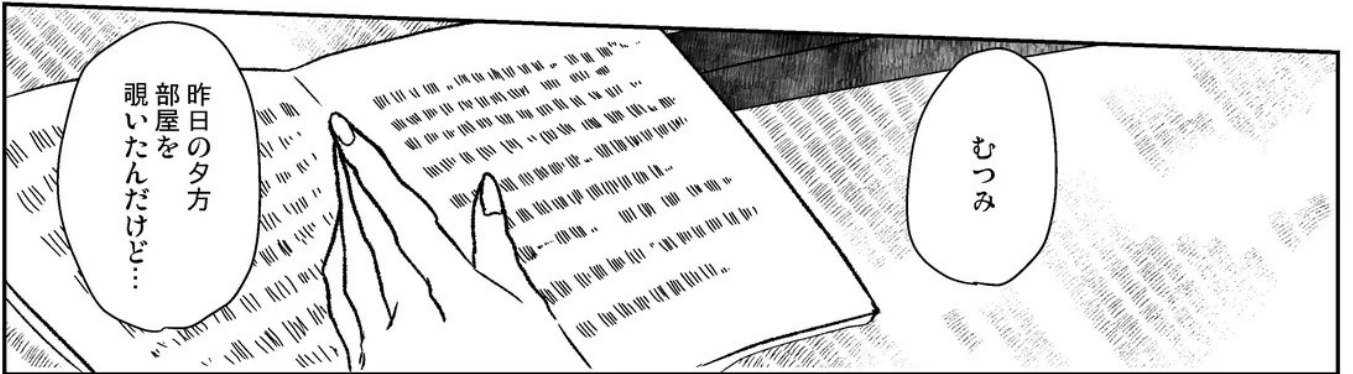
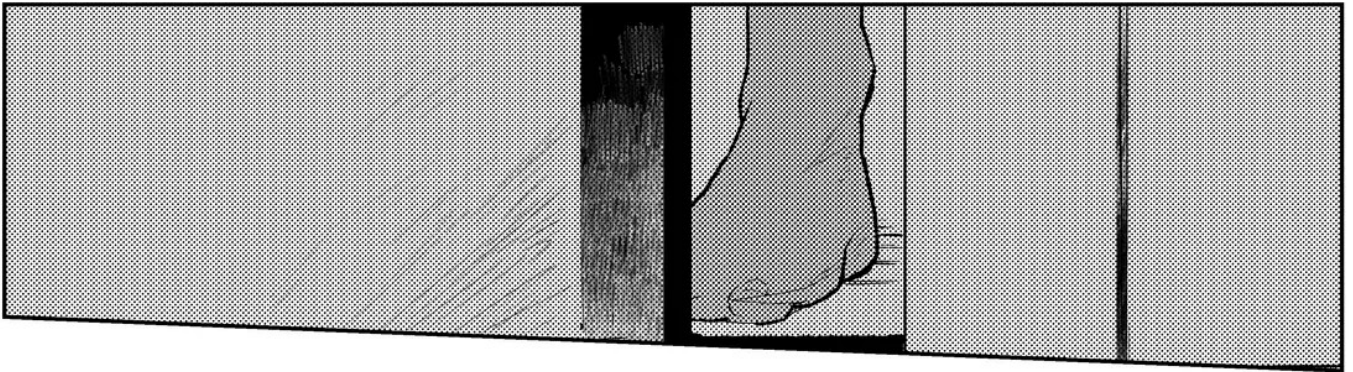
その頃の日記の内容といえば  
信彦の事ばかりで



両親がいないと思い、  
いつものように  
家で信彦と過ごした時…



だけど  
ある日…





汚らしい…!

ほんとうにあなたって子は…!

そんな事をさせるために  
育てた覚えはありません

何のために  
学校へ行ってるの?

こんなに不潔な子だとは  
知らなかった



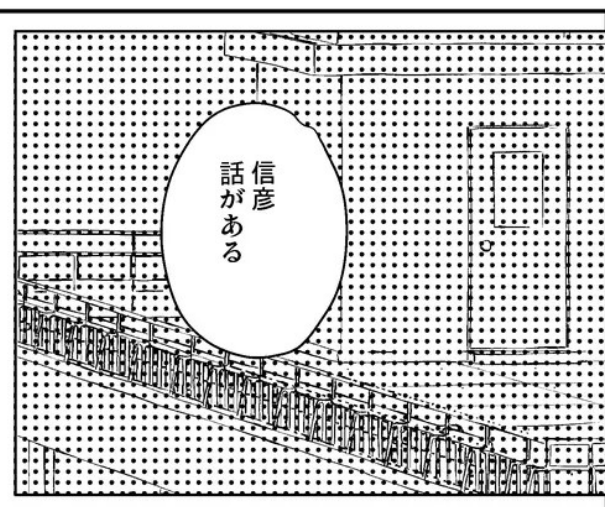
学校と桜木さん…だっけ?  
の親御さんにも連絡して…

ちょっ…

ま、待ってよ!  
わかった!もう桜木さんと  
仲良くしないから…!!



僕もう  
お前と仲良く  
できない

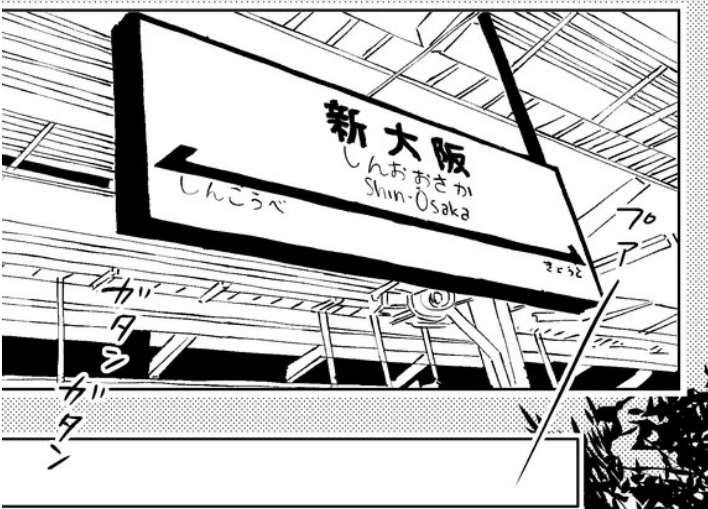


信彦  
話がある



どうしたんだよ  
急に!  
オレ何かした...?





自分で突き放したくせに  
考えるのは信彦の事ばかりで

心に穴が開くほどの  
喪失感を初めて覚えた

知らない土地…

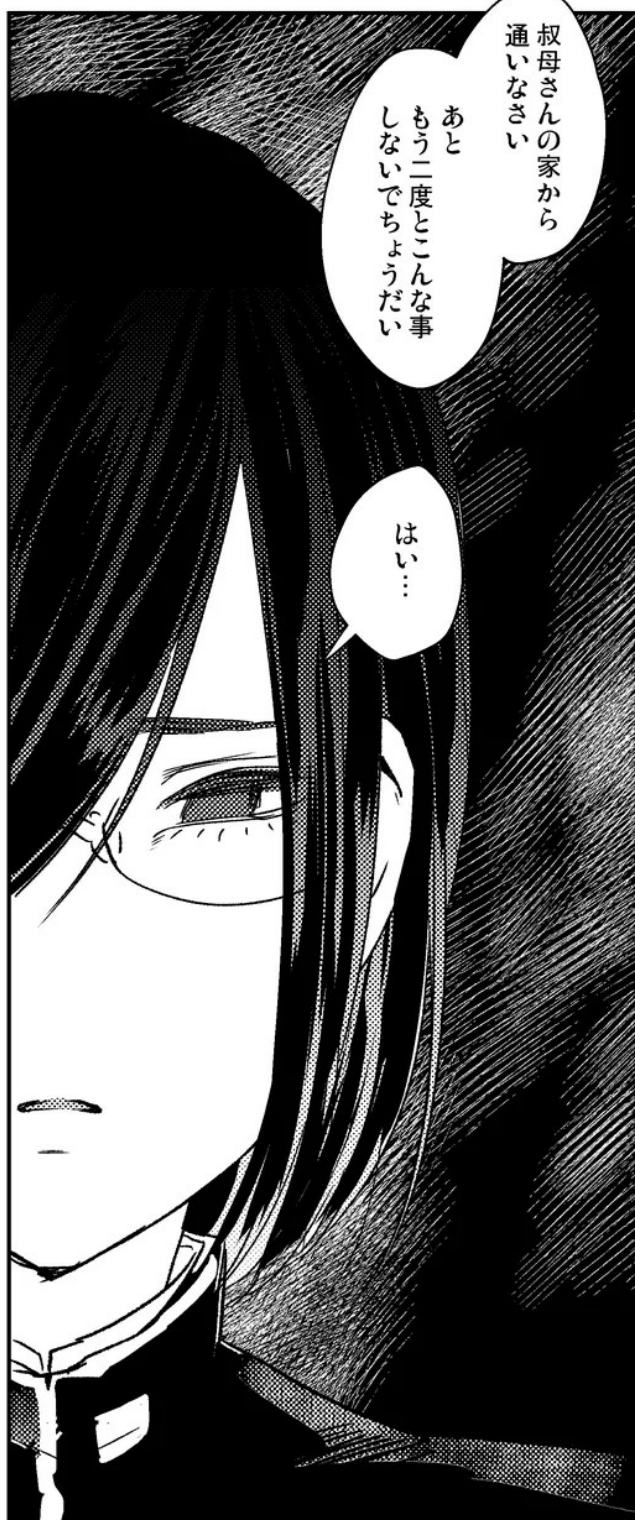
ここで信彦がいない  
生活が始まるんだ…



そして—

むつみ  
あなた大阪の  
兄弟校に転校すること  
になったから

えっ…!?



叔母さんの家から  
通いなさい

あと  
もう二度とこんな事  
しないでちょうだい

はい…





本当は  
嬉しくて

もう一回  
ちゃんと  
話がしたくて...



泣いてしまっそうで



母さん!?  
なんで学校に...  
今は叔母さんの  
家にいるはずじゃ...!

はっ!

後で先生に  
ご挨拶に  
行きますから



でも

のび...



何なんだよ!  
こんな所まで追いかけてきて!

むっ...

っ...!!?



気持ち悪い!!  
早くどっか行けよ!!



本当は  
好きでもなんでも  
なかったんだからな!!

お前なんか  
嫌いだ!!



うっ

うう……っ



ごめん…  
あの時…

僕がっ…

自分が怒られるのが  
怖くてっ…

きゅんきゅん

お前に  
あんなこと言って…

会いに来てくれて  
ホントは  
嬉しかったのに…っ



酷いこと言って…

傷つけてっ…



ごめん

ごめんっ…

なに…

そんな…

今更…





はっ

ちゅっ

はっ

ちゅっ

ぎゅっ

ちゅっ

ちゅっ



むじみっ...

ぎゅっ

クソっ...

ああっ

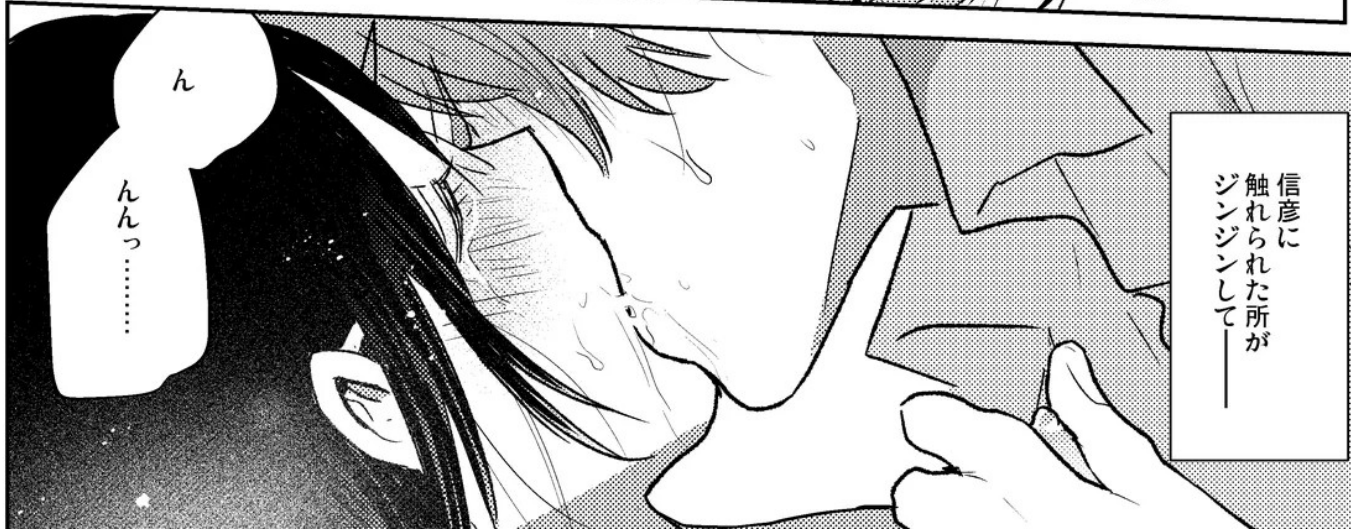
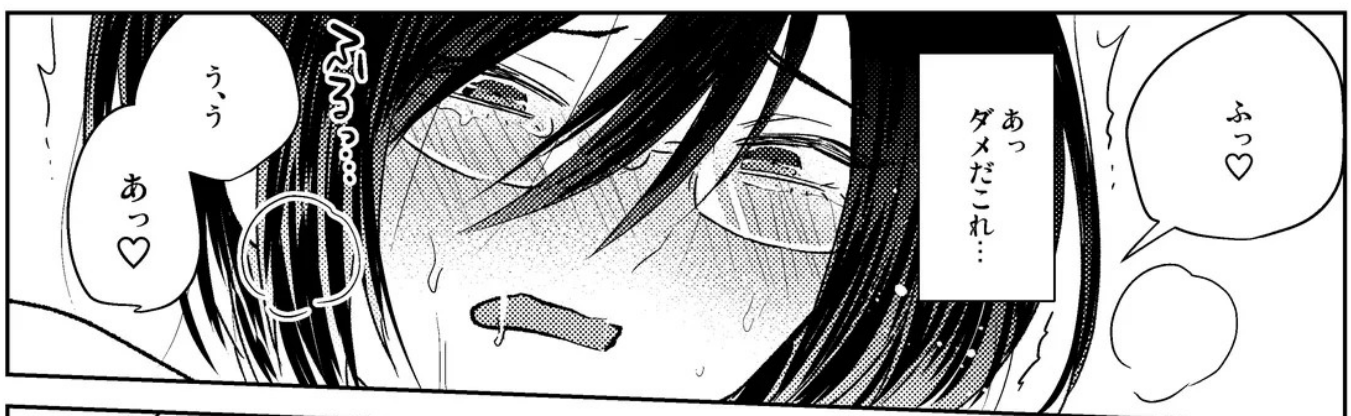
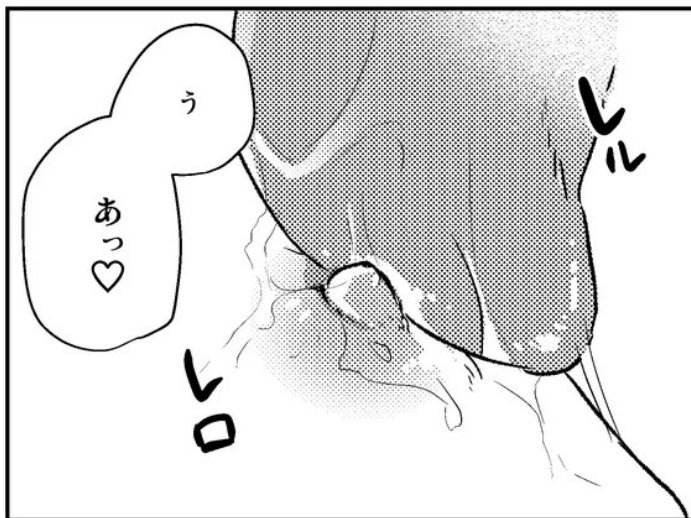


痛いくらいだっ...

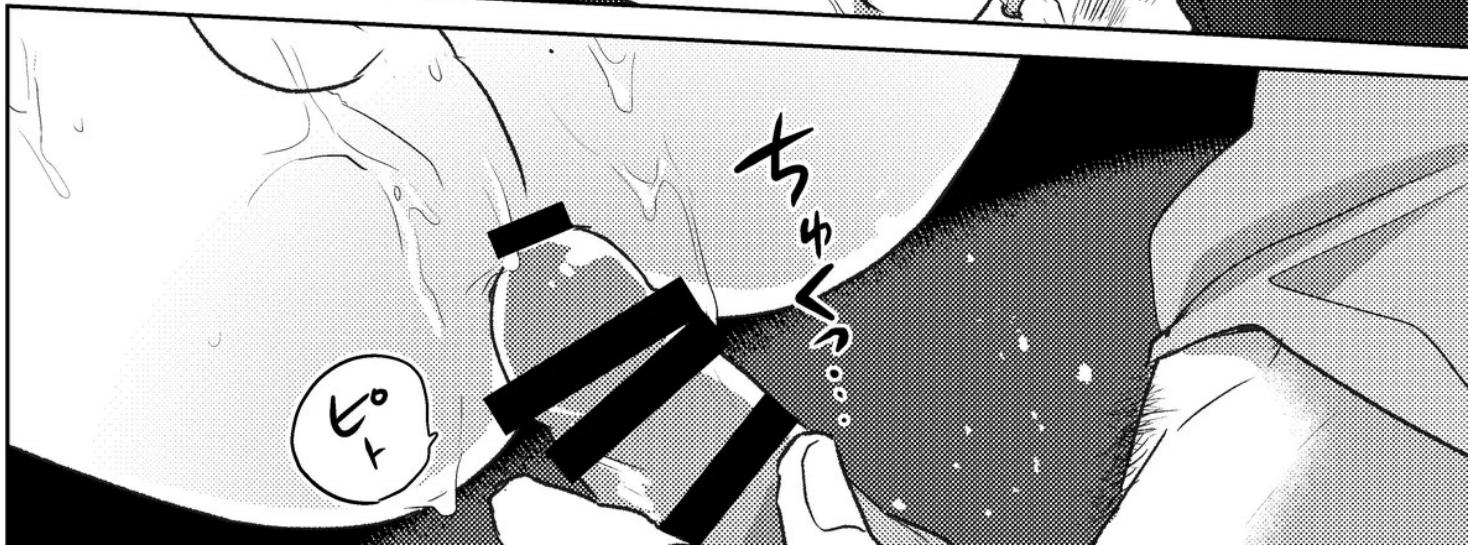
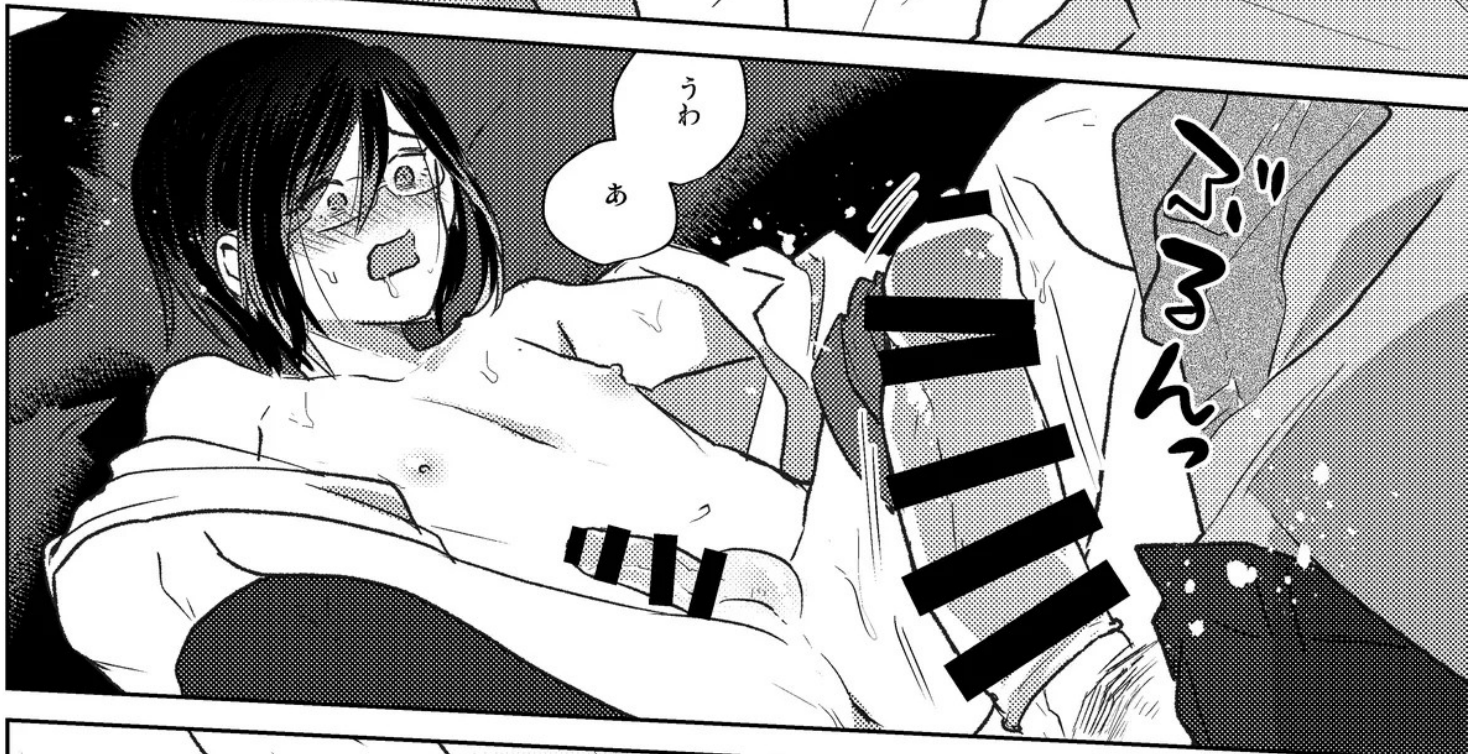
ドゥ

ああ...  
凄く強い力で  
抱きしめられてるっ...







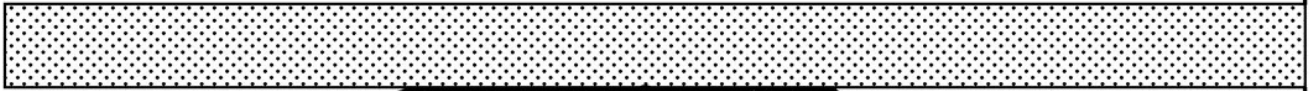
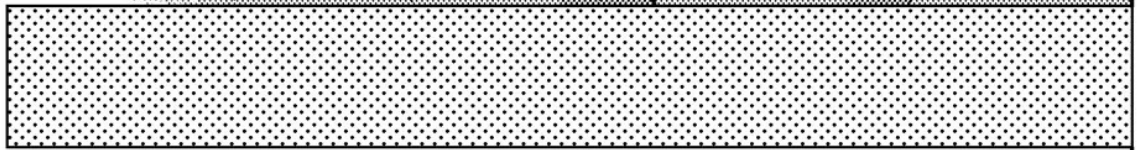






その後の事は  
記憶が曖昧だが

十数年ぶりに信彦と  
何度も何度も身体を重ねて  
しまっていたらしい――



ん…

ううん…



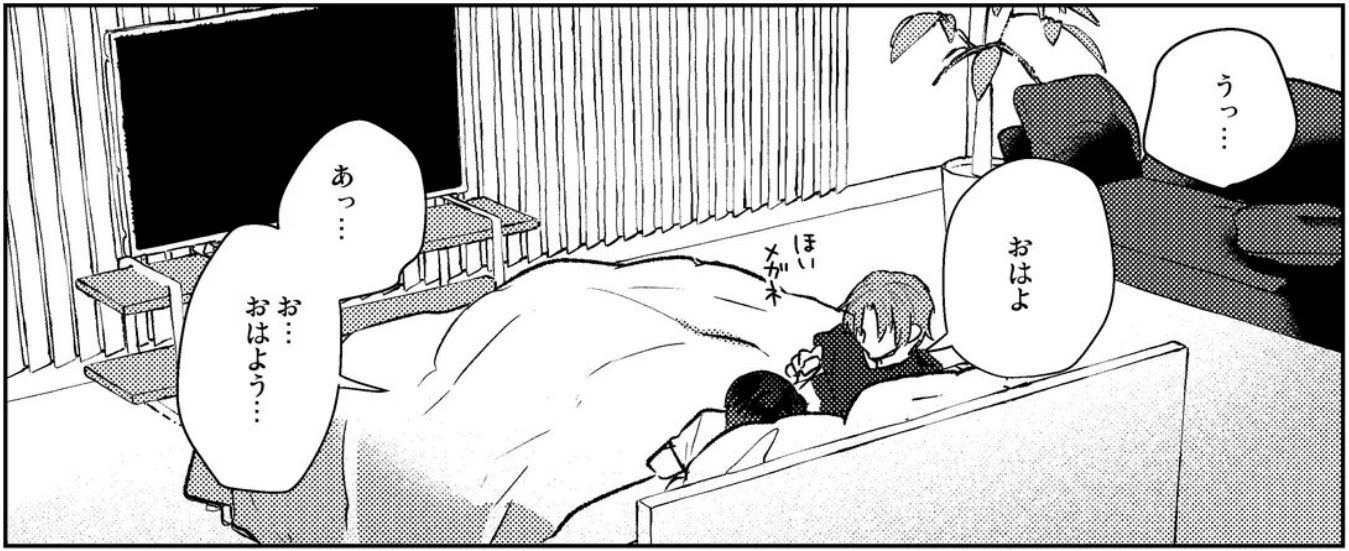
目エ覚めた?

よう



はっ!!

カバ!!!

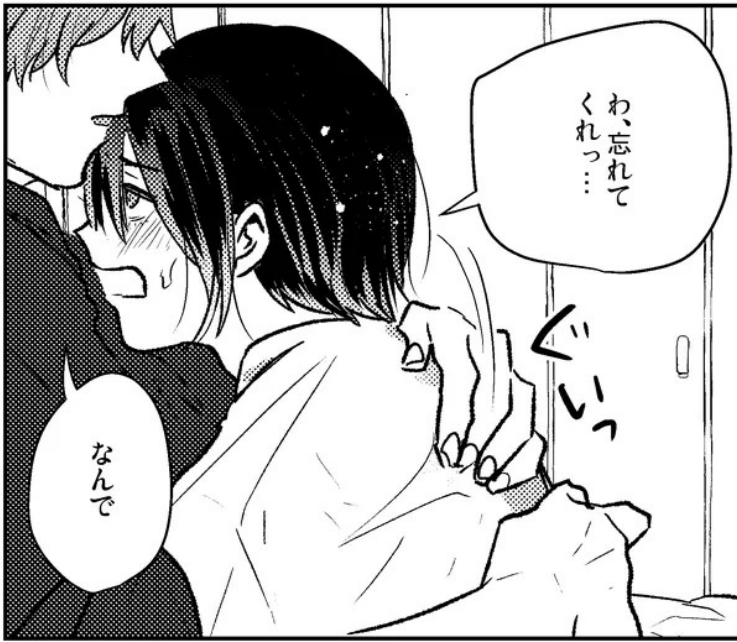


あっ...  
お...  
おはよう...

おはよ

うっ...

ほい  
みかネ



わ、忘れて  
くれっ...

なんで



ゆ...  
昨夜のこと  
覚えてる...?

当たり前じゃん

だって…  
男同士だしやっぱり…

こんなの…  
ムリだよ…

…お前さあ  
他のやつと付き合いおうとしたけど  
無理だったんでしょ？

まどなかつたとか  
言っただけじゃん

あんな泣いたって事はさあ  
後悔してるんじゃないの？  
散々悩んだんでしょ？

…っ  
でもっ…！

もう諦めて  
オレのものになりなよ

キキッっ…

オレの事嫌いじゃないって  
言ったよね？

今でも

昨日の夜  
散々ごめんさといって言ったよね？  
なのにまた逃げるつもり？

謝罪の  
気持ちがあるならさあ

どうすればいいか  
わかってるよね？



えっ？

え…




今度は

ふっ


まあオレは  
逃がす気ないよ



そんな事を  
言いながら



重ねられた手の温もりが  
あまりにもしっくり  
くるものだから



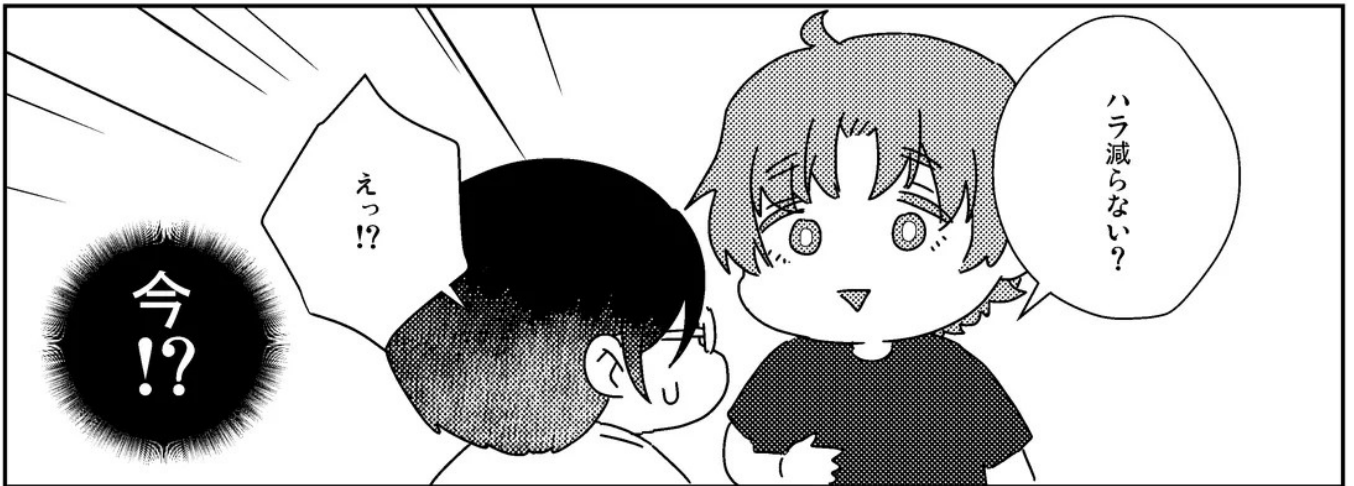
多分僕は信彦から  
離れられないんだろうなんて  
ひっそりと観念したのだった

■END■





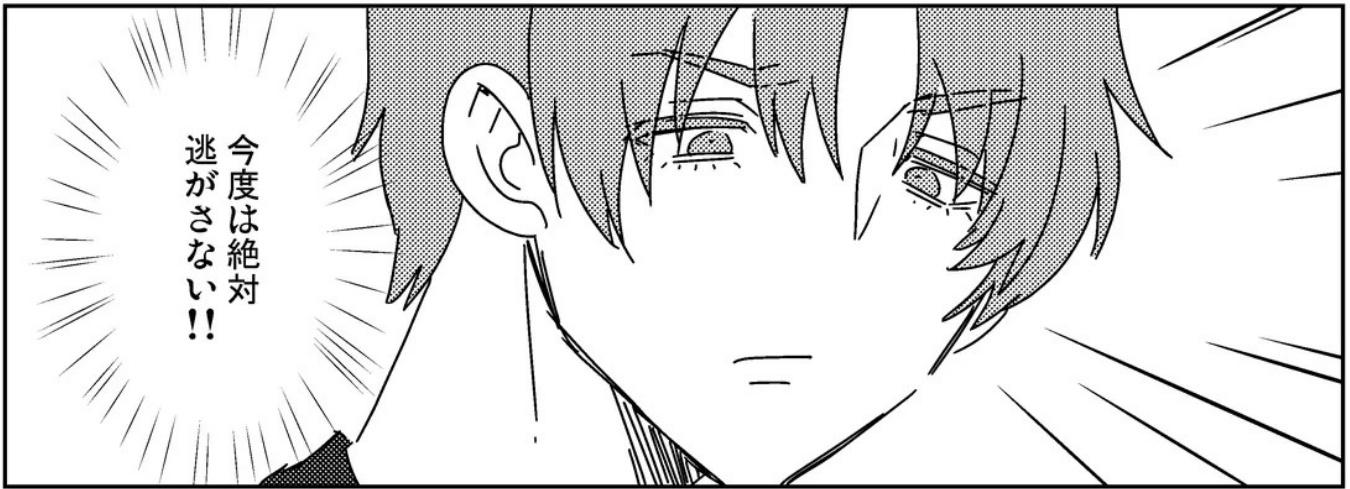
# 大事な話をしたのに



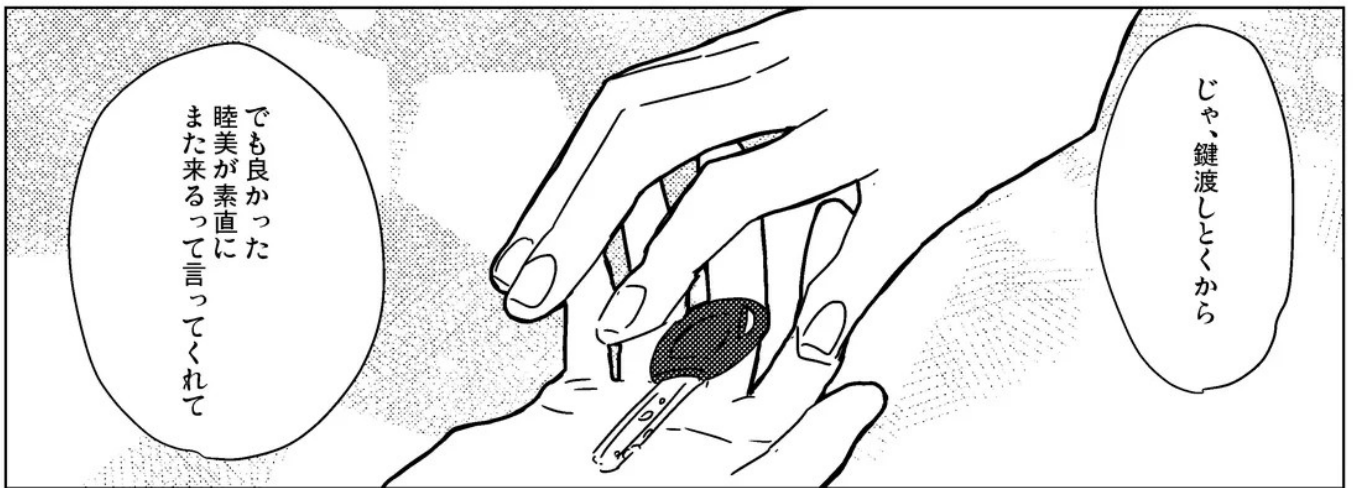
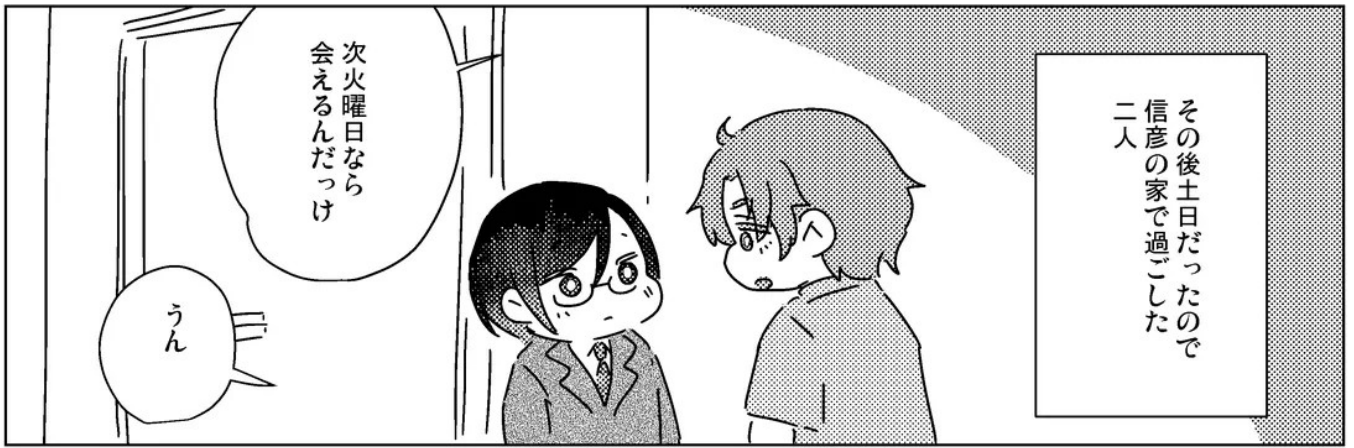
# 不安の払拭



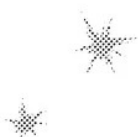
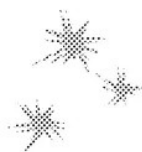
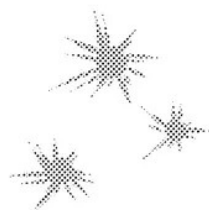
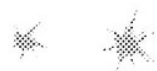
# ラストチャンス



# 絶対に逃さない彦



もう  
いちど  
その  
手を。



この度は本をお手に取って頂きありがとうございます。  
黒豆と申します。

今回は、今までにも描いてきた「信彦×睦美」の二人で  
再会してヨリを戻すまでのお話でした。  
今までこういう雰囲気の話をちゃんと描いたことがなかったので  
色々新鮮だったな～と思います。

ぼんやりと「こういう感じかな～」と思っていた二人の再会編が  
ちゃんと形になった…と思うとなんとなく不思議な気持ちです。  
色々と手探りではありましたが、少しでも楽しんで頂けると幸いです。

この二人を含む四人のお話の総集編「純情インモラル」が  
同日に発行されています。性描写が多めですが、ご興味がありましたら  
そちらもどうぞよろしく願いいたします。

余談なのですが、睦美は高校卒業後親の納得する大学、会社に入って  
その後は一人暮らしをして実家には殆ど帰っていません。  
「社会人になるまでは親の望み通りにしたけど、これからは自分で決めて生きたい」  
と、自分なりに親との決別をしています。

ここまで読んでくださってありがとうございました！  
また次回の本でお目にかかりましょう。

黒豆



←感想箱はこちら！



Mail : [kuromame0000000000@yahoo.co.jp](mailto:kuromame0000000000@yahoo.co.jp)

Twitter : [kuromame0000000](https://twitter.com/kuromame0000000)

Pixiv : 5823999

SpecialThanks!

表紙デザイン：きよじ氏

背景協力：碓井ツカサ氏

発行：2018/08/11

印刷所：栄光印刷



# もう いい その 手を。

——その出来事は今も俺の心の中でささくれになっている——

「本当は好きでもなんでもなかったんだからな」。

中学生時代恋人だった睦美とバーで再会した信彦。

彼女にフラれ酔いつぶれていた睦美を介抱する信彦に、

睦美は過去の真実を話し始める・・・。